

## 〈高大連携〉神奈川工科大学との教育交流に関する協定を締結



与安校長 ・ 二宮学長

神奈川工科大学との教育交流に関する協定の調印式が3月4日、神奈川工科大学 K1 号館 1 2 階の貴賓室において執り行われました。

調印式では、神奈川工科大学の小宮一三学長と本校の与安透校長とが協定書への署名を行い、今後の取り組みについて意見が交わされました。

小宮学長から「今年度創立 60 周年を迎えた本学は、来年度、学部学科を再編し、新たにスタートします。今回の高大連携をきっかけとしてともに連携を深め、これからの時代に対応できる人材育成を育てていきたいと思っています。」というお話がありました。

与安校長は「本校は、数年前まで福祉教養コースがあり、現在も福祉の精神を活かして 1 年生時から探究学習、選択科目受講等、福祉に関する授業を進めています。校舎には、高齢者が利用するデイサービスセンターが併設しており、和太鼓や手話の発表、サッカー部の試合観戦など交流を深めています。この連携を期に更に関係性を深めていければと思っています。」と今後の連携活動への期待を述べました。

神奈川工科大学は厚木市内に 1963 年 4 月に幾徳学園ならびに幾徳工業高等専門学校として創立し、1975 年に幾徳工業大学を開学、1988 年神奈川工科大学と改名しました。工学部、情報学部、応用バイオ科学部、健康医療科学部を設置した総合大学です。

この神奈川工科大学との協定の締結により、大学からの出前授業や本校生徒が神奈川工科大学で講義を体験するなど可能性が広がりました。